

令和7年度 前期教育アンケート結果のご報告

前期教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。それらの結果を報告させていただきます。この結果から見てきたことを活かして、よりよい教育を目指していきたいと考えています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

1. 「確かな学力」の育成に向けて

重点目標 自分で学びを進める力を育成し、友達と高め合う授業研究を行い、学力向上につなげる。

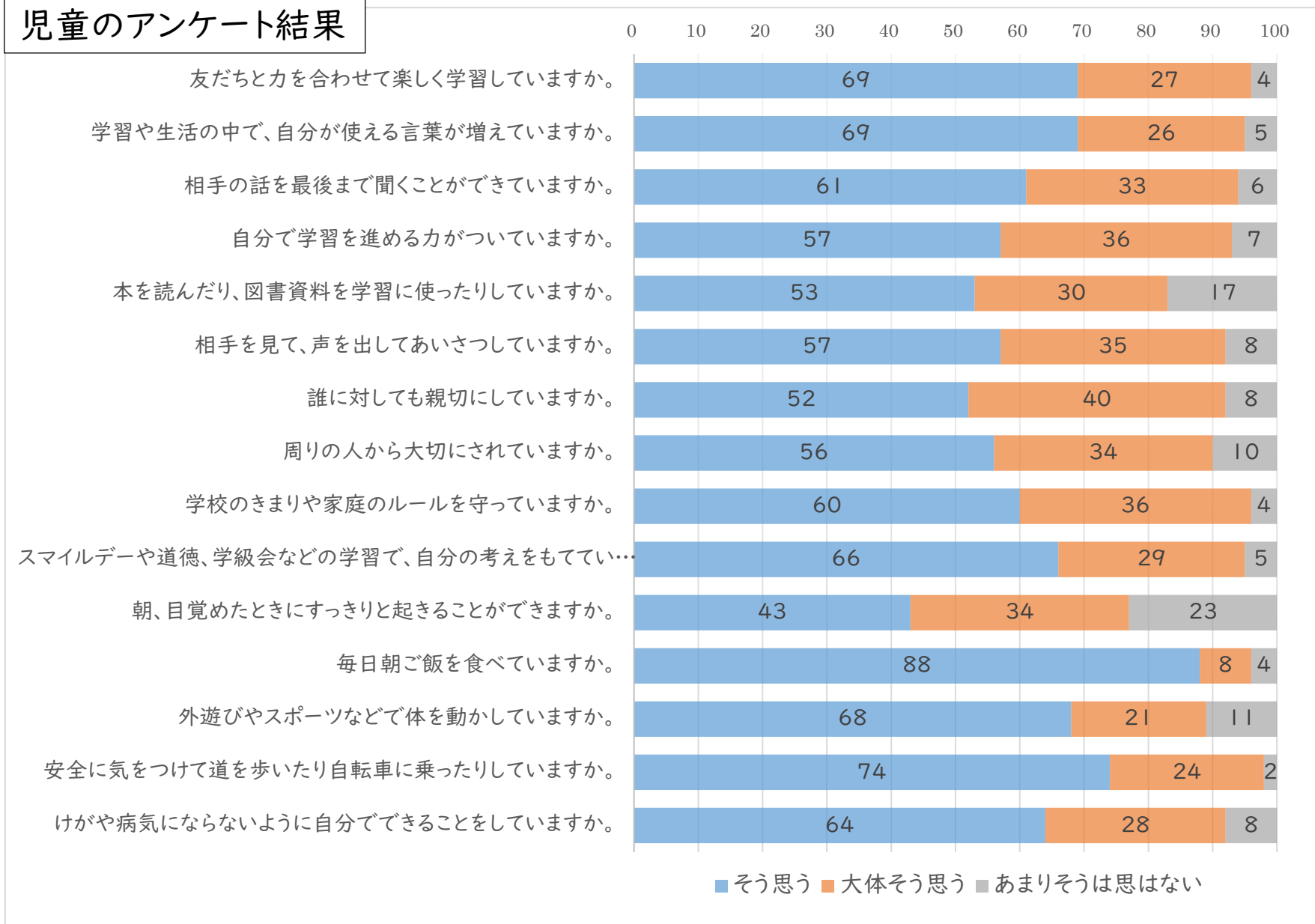
2. 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標 規範意識の育成や道徳教育の充実を図り、支え合い高め合う集団をつくる。

3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動の実践と体力の向上を図りながら、安全で健康的な生活を送る子を育成する。

児童のアンケート結果



1. 学習面の成果

- 「友だちと力を合わせて楽しく学習していますか」(96%)、「自分の考えをもていますか」(95%)など、協働的な学びや自己表現に関する項目で高い肯定率が見られます。
- 「自分で学習を進める力がついていますか」(93%)から、主体的な学習態度が育っていることが分かります。
- 「相手の話を最後まで聞くことができますか」(94%)など、コミュニケーション面でも良好な傾向がうかがえます。

2. 課題

(1) 読書・資料活用の定着

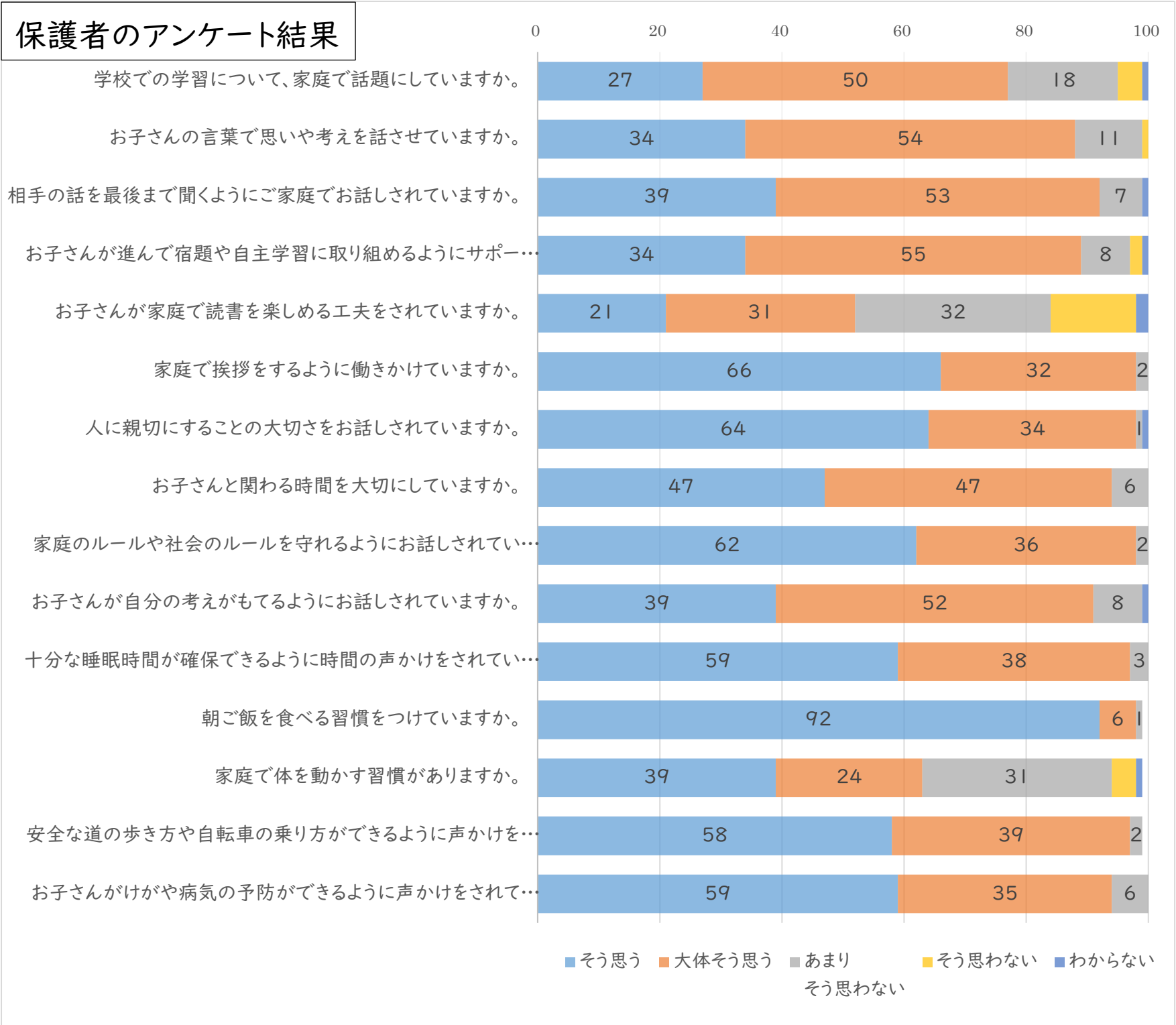
- 「本を読んだり、図書資料を学習に使ったりしていますか」で肯定的回答が83%にとどまり、他の項目より低くなっています。
- 読書習慣や情報活用能力をどのように育成していくかが今後の課題といえます。

(2) 生活リズムの乱れ

- 「朝、すっきりと起きることができますか」で肯定的回答が77%と低く、約4人に1人が課題を感じている結果となりました。
- 睡眠習慣や生活リズムの改善が必要といえます。家庭と連携して生活リズムを整えていきたいと思います。

3. まとめ

児童は概ね前向きに学習・生活に取り組んでおり、協働性や規範意識が高いことがわかります。一方で、読書習慣や生活リズムの安定に課題が見られます。これらを改善するためには、学校・家庭・地域が連携し、児童が主体的に生活習慣を整え、学びを深める環境づくりや取組の見直しや改善を進めることが重要であると考えます。



1. 成果

(1) 生活習慣・関わり方の成果

- 「朝ご飯を食べる習慣をつけていますか」(98%)、「十分な睡眠時間の確保」(97%)、「安全な行動への声かけ」(97%)など、家庭での生活リズムや安全意識が定着しているといえます。
- 「家庭で挨拶をするように働きかけていますか」(98%)、「人に親切にすることの大切さをお話しされていますか」(98%)など、基本的な生活態度や思いやりの育成が良好といえます。
- 「家庭のルールや社会のルールを守れるようにお話しされていますか」(98%)から、規範意識を高める関わりがご家庭でもしっかり行われていることがうかがえます。

(2) 学習支援・コミュニケーション面の成果

- 「宿題や自主学習へのサポート」(89%)も高く、学習習慣の定着に向けた家庭での支援が見られます。
- 「お子さんと関わる時間を大切にしていますか」(94%)から、家庭での関わりを重視する姿勢がうかがえます。

2. 課題

(1) 家庭での読書習慣の定着

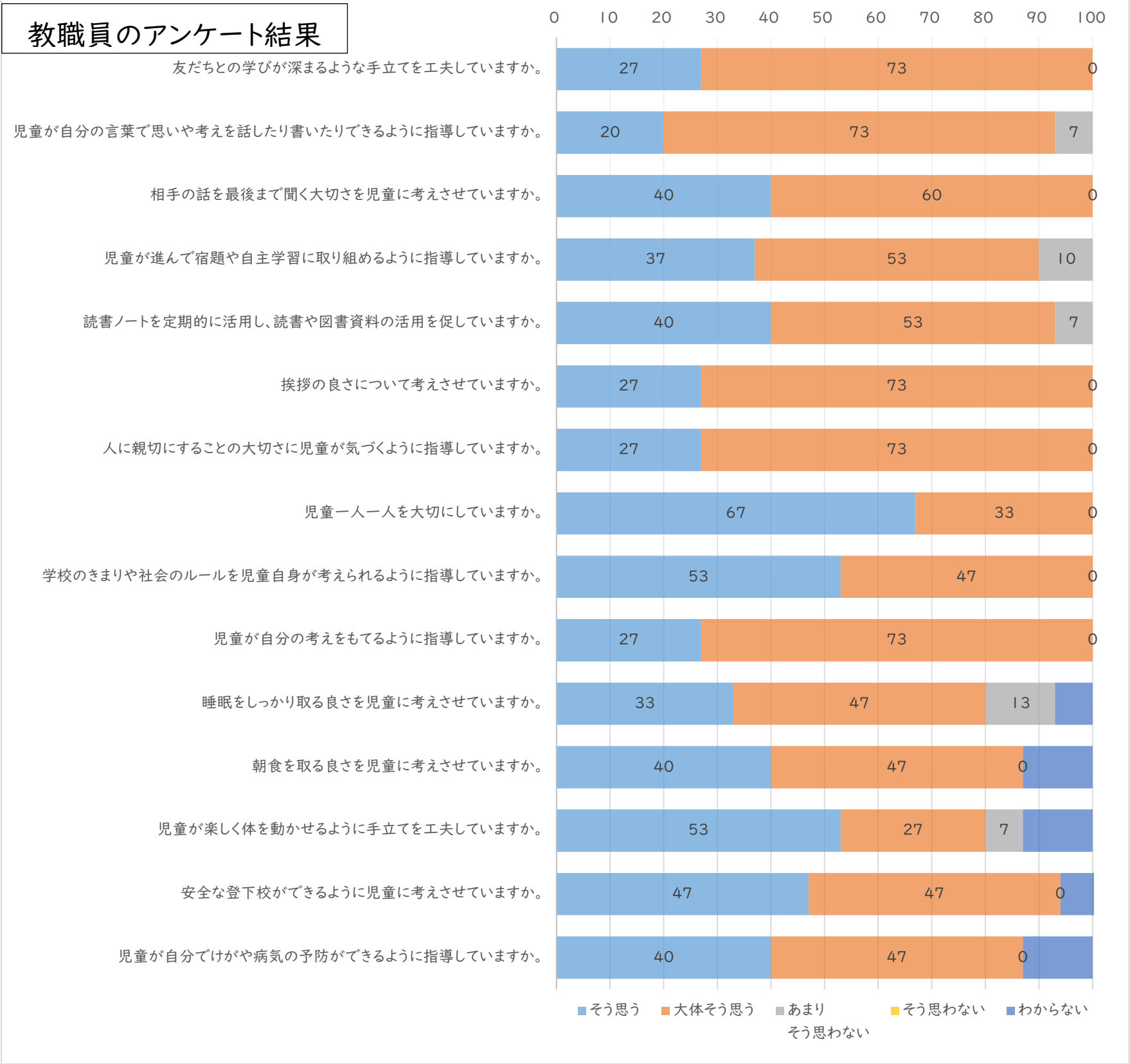
- 「家庭で読書を楽しめる工夫をされていますか」で肯定的回答が52%にとどまっています。
- 子どもたちの結果と照らし合わせてみると、8割の子どもたちは肯定的な意見だったので、学校や家庭での少しの働きかけでさらに良い結果につながる可能性があります。読書環境の整備や親子での読書活動等を取り入れて頂けると幸いです。

(2) 家庭での運動習慣の不足

- 「家庭で体を動かす習慣がありますか」で肯定的回答が63%と低く、約3割が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答。
- 健康を維持するための散歩やストレッチ、家族で楽しむ運動等、工夫して頂けるとありがたいです。

3. まとめ

保護者の多くが生活習慣や子どもたちとの関わりで高い意識を持ち、学校教育を支える姿勢が見られます。一方で、読書や運動など、学びと健康を支える家庭での実践には工夫できることがあるかもしれません。学校と家庭が協働し、子どもの「学ぶ力」「生きる力」を育むための具体的な支援策を継続的に進めることが今後も重要であると考えます。



1. 成果

(1) 学習面の成果

- 「友だちとの学びが深まるような手立てを工夫していますか」(100%)、「児童が自分の考えをもてるように指導していますか」(100%)など、協働的な学びや思考力を育む授業づくりが定着するように努めています。
- 「相手の話を最後まで聞く大切さを児童に考えさせていますか」(100%)から、傾聴態度の育成に対して意識して取り組んでいます。
- 「読書ノートの活用」(93%)も進んでおり、読書活動を通じた言語力育成の取組を進めています。

(2) 生活・人間関係面の成果

- 「挨拶の良さ」「人に親切にすることの大切さ」などの道徳的価値に関する項目で全員が肯定的に回答しており、日常生活指導で意識していることが表れていると考えます。
- 「児童一人一人を大切にしていますか」(100%)から、児童理解と個別支援の意識がより高まってきています。
- 「学校のきまりや社会のルールを児童自身が考えられるように指導していますか」(100%)により、主体的な規範意識の育成を進めています。

3. 課題

(1) 生活習慣に関する指導のばらつき

- 「睡眠をしっかり取る良さを児童に考えさせていますか」で肯定的回答が80%にとどまり、「あまりそう思わない」「わからない」が20%。
- 「朝食を取る良さ」(87%)、「体を動かす工夫」(80%)でも同様に課題が見られます。
- 教職員間で生活習慣指導の重点や方法に差がある可能性があるため、研修等で日常の中で意識を高める声かけの工夫などを考えたいです。

(2) 自主学習への支援の強化

- 「児童が進んで宿題や自主学習に取り組めるように指導していますか」で肯定的回答が90%にとどまり、10%が「あまりそう思わない」。
- 学年や教科によって児童の主体的な学びを引き出す工夫に差があると考えられることは改善点です。

4. まとめ

教職員は児童理解と人間関係づくりに高い意識を持ち、協働的な学びや道徳的価値の育成に励んでいます。一方で、生活習慣や健康教育の指導にはばらつきがあり、全校的な系統化が求められる状況だと考えられます。今後は、教職員間の連携を強化し、児童の「学ぶ力」「生きる力」をバランスよく育む教育活動の充実を図ることが重要であると考えます。

本アンケート結果を学校運営協議会で報告させていただきました。
その中で貴重なご意見をいただきましたので、紹介させていただきます。

・校区で、子どもたちの自転車の乗り方が、よくないことが見られる。令和8年4月1日から自転車の交通反則通告制度が始まるに当たり、今後一層、自転車の交通ルールを守る安全な運転をすることが求められる。自転車の交通ルールを学ぶ場が、子どもも大人も必要ではないかと考える。

・保護者のアンケートの結果を見て、「だいたいそう思う」という回答が多いのは、子育てに迷っているという保護者が多いのではないかと感じた。今の時代、よその子に注意をすると自分が怒られるという世の中になってきているが、保護者も地域も力を合わせて、みんなで子どもを見守ることが、今後ますます必要なのではないと思う。



宇多野小学校 学校教育目標



夢に向かって努力し



人とのつながりを大切にする子



後期のアンケートもご協力よろしくお願いします！